

委員会報告

2019～2020年度

No.1

第 1 回

委員会名

GLTクラブサクセスCQI

委員長名

L 関 飛雄一

開催 日時	2019年8月23日金曜日 18時 30分 ～ 19時 30分					
開催 場所	池袋 東武百貨店 14F バンケットホール					
出席 者	×	伊賀地区ガバナー	×	進藤第1副地区ガバナー	×	中井第2副地区ガバナー
	○	L 関 飛雄一 委員長	○	L 野下 浩世副委員長	○	L 利根川 昌弘 副委員長
	○	L 阪本 真路 副委員長	○	L 今井 龍司 委員	○	L 高野 健 委員
	○	L 高橋 秀人 委員	×	L 池田 辰二 委員	×	L 宮井 晴史 委員
	×	L 磯崎 一洋 委員	○	L 杉浦 宏重 委員	○	L 高橋 美恵子 委員
	○	L 澤田 雅夫 委員	○	L 大里 堅 委員	○	L 笠原 伸太郎 委員
	×	L 浅井 正輝 委員	×	L 倉沢 真平 委員	×	L 長谷山 大輔 委員
	×	L 葛西 智子 副幹事				
	オブザーバー					
×	GLTコーディネーター L佐久間	×	GLT副コーディネーター L増田	×	GLT指導力育成委員長 L清水	
×	GLT会員会則委員長 L知野					
次 第						
	1	開会宣言 副委員長 L 利根川 昌弘				
	2	委員長挨拶 委員長 L 関 飛雄一				
	3	キャビネット報告 委員長 L 関 飛雄一				
	4	審 議 別紙議題による				
	5	次回以降の日程				
	6	閉会宣言 副委員長 L 野下 浩世				
議 題	審議経過事項の概要					
	1	キャビネットからの報告事項				
		キャビネットからの①スーパーよさこい②キッズフェスタ③東京都障害者ダンス大会				
		の可能な限りの委員の参加促進依頼。				
	2	ガバナー諮問事項について				
		ガバナー諮問事項の理解と委員間の共通認識の定着を確認。				
		「GLT」は「Global Leadership Team」の意。				
		「クラブサクセス」は「クラブ活性化」の意。				
		「CQI」は「Club Quality Initiative」 の意				
		当委員会におけるガバナー諮問事項については以下の通り。				
		①地区内各クラブ活性化のためのアクティビティデータを管理し、情報提供を				
		通じて複数クラブ・各メンバーが参画できるイベント等の企画立案をする。				
				作 成 者	L 野下 浩世(日本橋)	

議 題	審議経過事項の概要	
		②ガバナー公式訪問時のクラブアンケートをリニューアルする。(デジタル化推奨)
		③アクティビティカレンダーを有効利用し、パツティングしない
		スケジュール管理を検討する。
		④CQIプログラムの研究・実施。
3	分科会について	
	諮問事項が多岐にわたるので三つの分科会を作る。委員の振り分けは次回までに	
	幹部会を開き、決定する。	
	分科会の役割配分および責任者については下記の通りとする。	
	★A班・・・クラブアンケートのリニューアルおよびアクティビティデータの管理	
	A班担当を阪本副委員長に諮問する。	
	2019年度ガバナー公式訪問時のクラブアンケートを委員に配布し	
	アクティビティデータを管理するにはどのように改良すれば良いか諮問した。	
	★B班・・・アクティビティカレンダーの管理およびCQIプログラムの研究・実施。	
	B班を野下副委員長に諮問する。	
	委員に対しアクティビティカレンダーの概要について説明をおこなった。	
	委員に対しCQI(クラブ活性化計画)の概要について説明をおこなった。	
	CQIについては委員長が委員に対して、後日説明会を実施することになった。	
	★C班・・・情報提供を通じて複数クラブ・各メンバーが参画できるイベント等の	
	企画立案する	
	C班を利根川副委員長に諮問する。	
	2020年3月～4月以降にCQIセミナーをGLT指導力育成委員会が主催する	
	次世代リーダーシップセミナーと合同で開催したい。(L関委員長の意向)	
4	キッズフェスタ in 大井競馬場について	
	ガバナーの出店要請を受け、当委員会は委員長の提案でくじ引きを採用する方針。	
	売上は岩手県被災地の障がい者支援支援金としてアクティビティにあてる予定。	
	人の割り当てを事前に打ち合わせる。	
	当該イベントの出欠については別途連絡する。	
5	司会の選定について	
	副委員長が務めることになった。	
6	書記の選定について	
	副委員長が務めることになった。	
	会計担当は司会・書記以外の副委員長が良いとの話も出た。	
7	委員会内の開催通知について	
	eMMR SerrvannAでの出欠管理をメインとし、開催通知はメールとFAXを用いる。	

審議経過事項の概要	
8	委員会内の連絡方法について
	連絡手段として「LINE」および「+プラスメッセージ」が提案された。
	「+プラスメッセージ」は「LINE」と比較して情報漏洩の可能性が少ないとのこと。
	その他の会員については携帯電話またはメール・FAXでの連絡となった。
	(電話やFAXは必要かもしれない。野下(注))
9	その他
	委員会開催については可能な範囲で第四金曜日と18時半スタートを原則とする。
	出欠席を早めに明確にするように委員間の意識を促す。
10	次回以降の日程について
	9/27(金)18時半から(次回)・10/25(金)・11/22(金)・12/16(月)場所未定
	2020年1月以降は上半期経過後に決定とする
2019年 9 月 27 日 金 曜 日 18 時 30 分 ~ 19 時 30 分	
場所は未定	